

水産物の市況について(令和4年2月及び令和4年3月)

—東京都中央卸売市場における令和4年2月(令和4年1月21日～令和4年2月20日集計)の市況と、
令和4年3月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和4年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや減少し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からかなり弱含みで推移し、前年同月比では強含みで推移しました。

II 令和4年3月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体に横ばい、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品の入荷量は引き続き低調、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。東京への冷凍物の入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

産地の水揚量は徐々に増加すると予想され、東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は冷めばち・冷きはだ主体に高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	2月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
4年	28	1,125	29	1,467	32	1,362
前年	30	1,012	33	1,232	31	1,189

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	2月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	399	106	105	124
さけ類(平均)	1,251	126	157	133
(ぎんざけ塩蔵品)	1,010	103	126	108
(あきさけ塩蔵品)	730	108	203	111
(べにざけ塩蔵品)	1,570	110	124	130
(さけ類冷凍品)	1,293	131	165	141
さば(生鮮品)	421	96	121	103
するめいか(平均)	731	72	85	88
(生鮮品)	708	67	83	86
(冷凍品)	959	100	112	111
あじ(生鮮品)	489	91	85	83
まぐろ(冷凍品)	1,674	93	128	110
(めばち冷凍品)	1,317	101	139	119
(きはだ冷凍品)	1,232	99	117	115
(くろまぐろ冷凍品)	3,228	90	116	104
(みなみまぐろ冷凍品)	1,784	90	106	91
かつお(生鮮品)	799	86	140	117
さんま(生鮮品)	859	100	108	173

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 2月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成29年～令和3年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613